沖 公 活 第 5 号
令和８年 11 月 24 日

関係者各位

沖永良部地域公共交通活性化協議会
会長（和泊町長）　前　登志朗
（公印省略）

「おきのえらぶ移動未来会議（仮称）」第１回会合の開催について（ご案内）

初冬の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素より沖永良部島内の公共交通対策にご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、沖永良部島においては、これまでのデマンド交通や公共ライドシェアの実証運行等を通じて地域交通の維持確保に努めてまいりましたが、深刻化する交通人材の不足や移動ニーズの多様化に対応するためには、引き続き官民連携による持続可能な交通体系の構築が不可欠です。

そこで今年度、交通データの収集・分析・可視化を通じて、地域自らが継続的に交通サービスの評価・改善に取り組める体制を構築することを目的とした「沖永良部島モビリティマネジメント人材・組織育成事業」（別紙概要のとおり）を実施することとなりました。

つきましては、本事業の中核として、行政、交通事業者、観光・福祉関係者等からなる地域交通マネジメントチーム「おきのえらぶ移動未来会議（仮称）」を立ち上げることとし、その第１回会合を下記のとおり開催いたします。 ご多忙の折、誠に恐縮ではございますが、ご出席くださるようお願いいたします。

記

1. 日時 令和８年 12 月９日（水） 16：00～18：00
2. 場所 和泊町役場 １階「結いホール」
3. 議題（予定）
   - 「おきのえらぶ移動未来会議（仮称）」設立趣旨・規約案について
   - 島内の輸送資源および人的資源に関する現状と課題の共有
   - 交通データ（モニタリング指標等）を活用したマネジメントの方向性
   - 今後のスケジュールおよび進め方について

※会議資料等につきましては、当日会場にて配布いたします。

※誠に恐縮ではございますが、会場設営の都合上、【12 月４日（金）正午】までに別添の①出欠報告書及び②事前ヒアリングシートを FAX・メールまたは下記 QR フォームにて、下記担当宛てにご提出くださいますようお願いいたします。

【回答フォーム】

連絡先
沖永良部地域公共交通活性化協議会事務局
担当：衛守　歩（和泊町企画課内）
Tel: 0997-84-3512（内226）
fax: 0997-92-2116
Mail： kikaku@town.wadomari.lg.jp

（別紙①）

出欠回答票

12月9日(水)16：00～開催　「おきのえらぶ移動未来会議（仮称）」第1回会合の開催について（ご案内）

担当者職氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

メールアドレス＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

団体名・役職名	ふり　がな 氏　　名	出・欠 （該当する方に○印をつけてください）
		出　席 （現地・オンライン） 欠　席

（代理出席の場合）

団体名・役職名	ふり　がな 氏　　名

会場設営の都合上、【12月4日（金）正午】までにご提出ください。

【回答フォーム】

（提出先）〒891-9192
大島郡和泊町和泊10番地
沖永良部地域公共交通活性化協議会事務局
和泊町企画課　担当：衛守
TEL ：0997-84-3512（内226）
FAX ：0997-92-2116
Mail:kikaku@town.wadomari.lg.jp

おきのえらぶ移動未来会議（仮称）事前ヒアリングシート

島内の交通・移動に関する現状や各団体の意向を伺い、これからの会議での課題共有と今後の検討に活用します。該当する項目にチェックし、自由記述欄は書ける範囲でご記入ください。

団体名・事業者名： ＿＿＿＿＿＿＿＿　　**ご回答者 職・氏名：** ＿＿＿＿＿＿＿＿

Q1 顧客・利用者の移動

顧客や利用者のアクセスについて、課題はありますか。（例：観光客の二次交通（空港・港、島内観光）が不足　等）

Q2 既存の公共交通

島内のバス、タクシー等の移動について、課題は何だと感じますか。（例：便数や運行頻度が少ない、ニーズが不明　等）

Q3 将来への不安

5〜10 年後の島内の移動環境で、不安に感じることはありますか。（例：高齢者の免許返納後の移動手段の確保　等）

Q4 交通データの活用

人流、乗降履歴、移動ニーズ等が可視化・共有された場合、業務や経営の改善に活用できると思いますか。

☐ 大いに活用できる（新サービス開発、シフト調整、マーケティング等）　☐ 少しは活用できる

☐ あまり活用できない・わからない

Q5 分野を越えた連携への期待

交通事業者と観光・福祉・飲食等が連携し、情報共有することで期待することはありますか。

（例：移動需要と供給のミスマッチ解消、域全体の魅力・利便性向上と経済波及効果　等）

Q6 会議への要望

会議で重点的に話し合いたいテーマや、共有したい事例・アイデアをお書きください。

Q7 その他のご意見

島内の交通に関するご意見や、日頃感じている疑問などを自由にお書きください。

提出について

提出期限	令和 8 年 12 月 4 日（金）正午まで
提出先	沖永良部地域公共交通活性化協議会事務局 和泊町企画課　担当：衛守
提出方法	別紙①と併せて、FAX（0997-92-2116）またはメールでご提出ください。

沖永良部島の移動の未来について考えてみませんか？

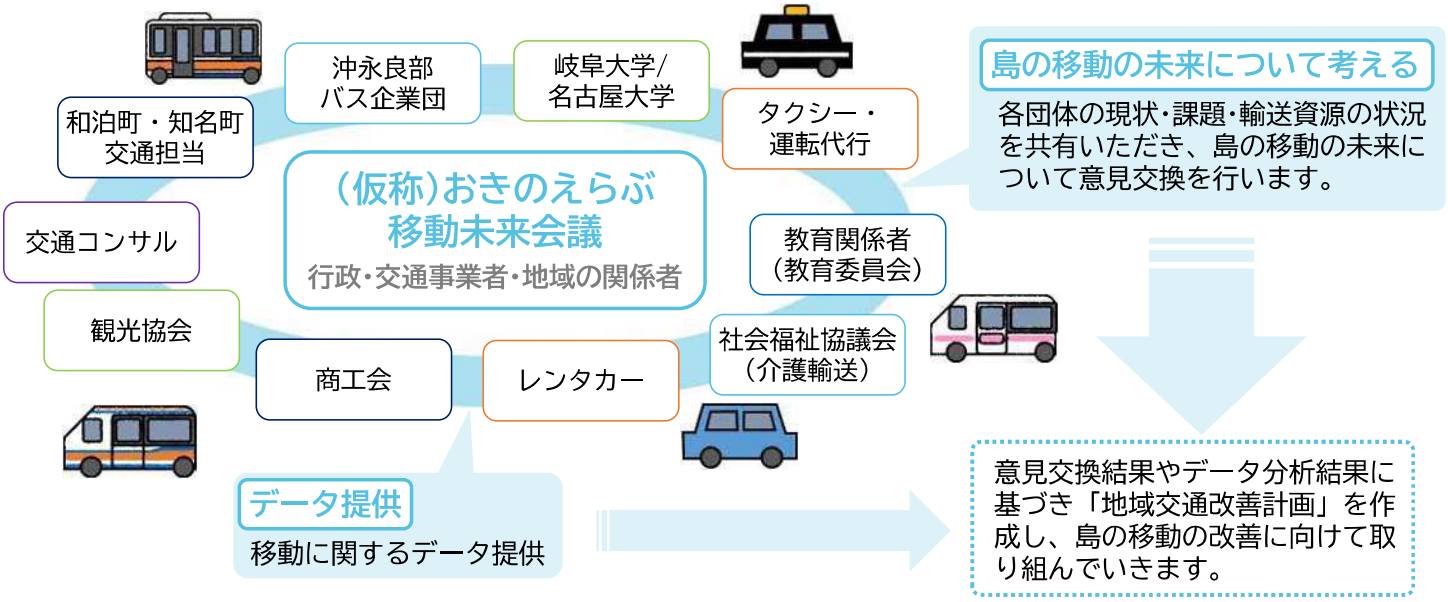
おきのえらぶ移動未来会議（仮称）

沖永良部島では、人口減少・高齢化・運転手不足が進み、地域の移動を取り巻く環境が大きく変化しています。

島内には、バス・タクシー・各種送迎サービスなど、さまざまな交通サービスがありますが、持続可能な移動を確保するためには、個々の交通サービスをそれぞれ改善するだけではなく、島全体の移動を一緒に考えていくことが重要です。

そこで、島の交通サービスに携わる皆様にお集まりいただき、島の移動の未来について意見交換を行う「おきのえらぶ移動未来会議（仮称）」を立ち上げることとなりました。

島の移動の未来をよくしていくため
移動に携わる団体の皆さまのご参加をお待ちしています！



令和８年度の開催予定

今年度は２回の開催を予定しています。

第1回 12月9日(水)16:00～18:00
和泊町役場 結いホール

「チームをつくる」
- 趣旨説明
- 情報提供(バス企業団を巡る課題・現状)
- 会議名の決定
- 次回ワークショップの説明

第2回 1月中旬～下旬(予定)

「ワークショップ」
- 各団体から課題・現状の共有
- 意見交換(未来の移動について)

会議のメンバー

●行政関係

和泊町・知名町(交通担当・福祉担当)
教育委員会、観光協会、商工会等

●移動に携わる交通事業者等

交通事業者(バス・タクシー・レンタカー・運転代行事業者等)

その他移動送迎サービスを提供されている団体

●サポート(講師・コンサルティング)

岐阜大学・名古屋大学・交通コンサル

事務局 和泊町役場 企画課 ☎0997-84-3512
知名町役場 総務課 ☎0997-84-3156

【鹿児島県大島郡和泊町・知名町】
沖永良部島モビリティマネジメント人材・組織育成事業

モビリティ人材・組織育成タイプ

応募様式ア

事業主体 和泊町

事業実施地域 鹿児島県大島郡 和泊町・知名町全域

事業費 事業全体費用：7,194千円

事業背景・目的






【背景】

・R7年度にデマンド交通及び公共ライドシェアの実証運行を実施し、令和8年3 月から新たな交通サービスの本格運行を開始
・一方で、沖永良部バス企業団では今後5年間で運転手の定年退職が見込まれ、交通人材不足が深刻化
・和泊町・知名町の交通担当者は兼務かつ各1名であり、利用実態分析やサービ ス改善を継続的に実施する体制が不足

【課題】

・交通サービスの利用実態や運行状況を分析し、改善へ繋げる仕組みがない
・外部専門家への依存が大きく、データ分析・評価等のノウハウが地域に蓄積されない
・将来的な新たなサービス導入や輸送資源共同活用を検討できる人材・組織が不足
・沖永良部バス企業団の車両数不足や経年劣化による故障件数の増加により、観光需要への供給不足の慢性化や代替輸送体制の未整備
・高齢化により移動困難者が増えることが見込まれる中、福祉輸送やタクシー事業者との連携不足、役割分担の明確化がされていない

【目的】

「交通サービスを導入する地域」から「データに基づき自ら改善できる地域」へ

・地域交通マネジメントチーム（仮称）を設立し、①データ分析基盤、②月次評価レポート、③人材育成プログラムを整備することで、**担当者が変わっても回り続ける地域交通マネジメント体制を構築する**

事業効果

項目	効果
人材育成	データ活用人材の育成
組織構築（組織設立）	継続的なマネジメント水準の維持・向上等
地域交通サービス改善	地域交通サービスの継続的改善
地域への波及	観光・福祉との連携強化

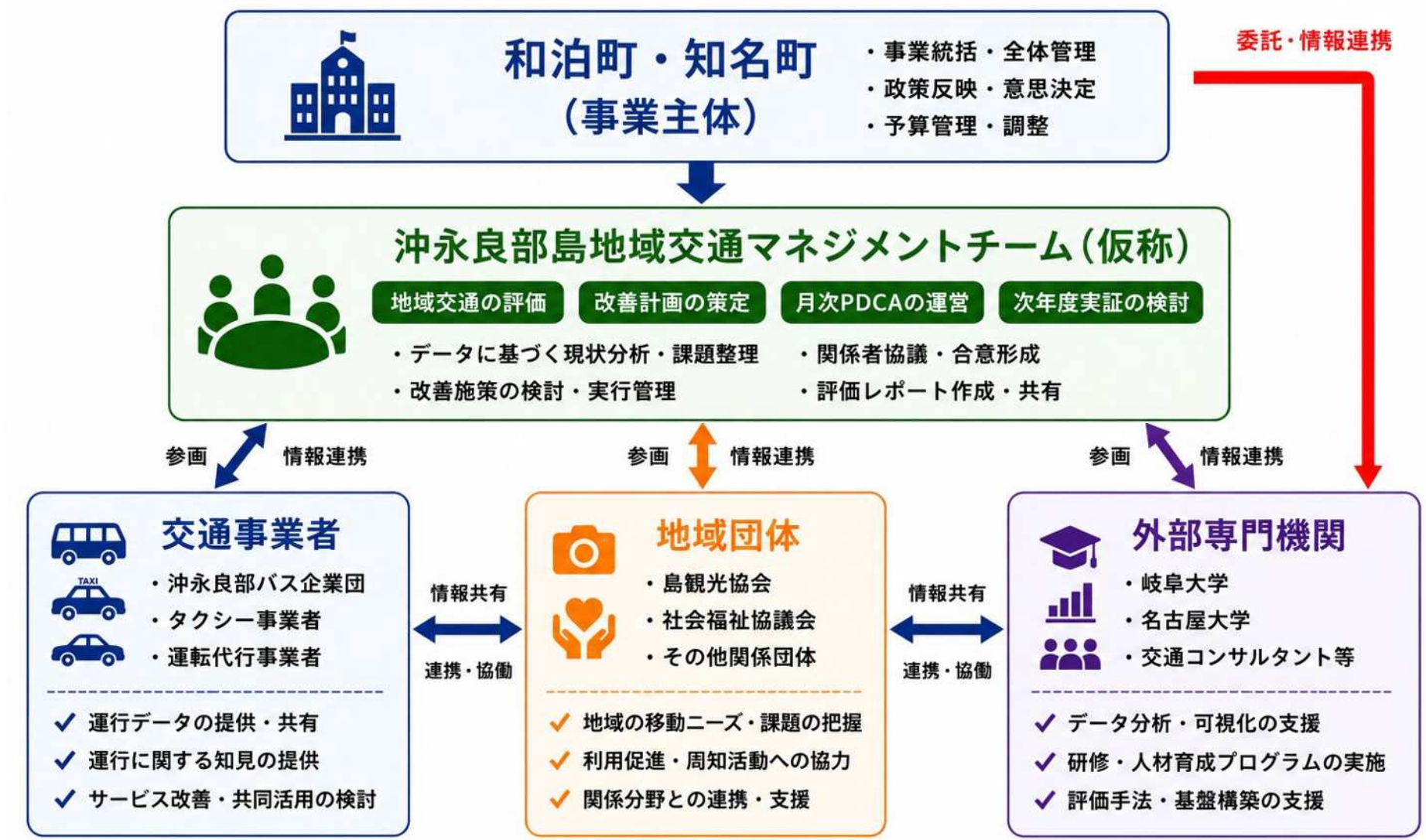
事業概要

事業対象者	和泊町・知名町（交通担当）、沖永良部バス企業団、タクシー・運転代行事業者、島観光協会、和泊町・知名町社会福祉協議会
習得するスキル	データ活用（収集・分析・可視化）地域交通サービス評価改善計画策定・PDCA運営関係者調整・合意形成
人材・組織育成の内容および手法	① 地域交通マネジメントチーム設立 ② ダッシュボード・評価基盤整備 ③ データ分析・サービス評価研修 ④ ワークショップによる改善計画策定 ⑤ 月次評価レポート運用による組織定着

実施手順

組織立上げ（～10月）	和泊町・知名町（交通担当）、沖永良部バス企業団、タクシー・運転代行事業者、島観光協会、和泊町・知名町社会福祉協議会
基盤整備（9～11月）	データ活用（収集・分析・可視化）、地域交通サービス評価改善計画策定、PDCA運営関係者調整、合意形成
人材育成（11～1月）	システム活用研修データ分析、演習サービス、評価実践
改善計画検討（12～2月）	関係者ワークショップ、輸送資源共同活用検討、地域交通サービス（ライドシェア含む）導入検討
組織定着（2月）	改善計画策定、月次評価体制構築、次年度実証計画策定

事業実施体制


和泊町・知名町
（事業主体）
・事業統括・全体管理
・政策反映・意思決定
・予算管理・調整
委託・情報連携
沖永良部島地域交通マネジメントチーム（仮称）
地域交通の評価
改善計画の策定
月次PDCAの運営
次年度実証の検討
・データに基づく現状分析・課題整理
・関係者協議・合意形成
・改善施策の検討・実行管理
・評価レポート作成・共有
参画
情報連携
参画
情報連携
参画
情報連携
交通事業者
・沖永良部バス企業団
・タクシー事業者
・運転代行事業者
✓ 運行データの提供・共有
✓ 運行に関する知見の提供
✓ サービス改善・共同活用の検討
情報共有
連携・協働
地域団体
・島観光協会
・社会福祉協議会
・その他関係団体
✓ 地域の移動ニーズ・課題の把握
✓ 利用促進・周知活動への協力
✓ 関係分野との連携・支援
情報共有
連携・協働
外部専門機関
・岐阜大学
・名古屋大学
・交通コンサルタント等
✓ データ分析・可視化の支援
✓ 研修・人材育成プログラムの実施
✓ 評価手法・基盤構築の支援